

主の祈り

てん われ ちち
天にまします我らの父よ。

ねがわくは御名をあげさせたまえ。

みくに
御国をきたらせたまえ。

みこころのてんになるごとく、ち
地にもなさせたまえ。

われ にちよう かに
我らの日用の糧を、きょうも与えたまえ。

われ つみ もの われ
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、

われ つみ
我らの罪をもゆるしたまえ。

われ
我らをこころみにあわせず、あく すく
悪より救いいただいたまえ。

くに さか かぎ
国とちからと栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。

アーメン

お知らせ

※手指消毒に、ご協力をお願いします。

※礼拝堂または友愛ホールにてご着席ください。

※終了後、召天者のスライド上映及び呈茶を行います。

※納骨堂の開放時間は午後 1 時から午後5時と致します。

召天者記念礼拝



2023年4月23日（日）午後2時30分

春日部福音自由教会 丘の上記念会堂

春日部市道口蛭田15 Tel.048-754-7683

礼拝順序

司会：山田 豊 協力牧師
 説教：小野 信一 牧師
 奏楽：山浦 和恵 姉

- 前 奏 「主よ、みもとに」 (蒔田尚昊)
 賛 美 新聖歌 336 「日暮れて闇はせまり」 (1,2,4 節)
 祈 り 司 会 者
 主の祈り 一 同
 聖 書 ルカ 24:28-35、ヨハネ 14:1-3
 説 教 『地上を歩く間も、世を去る時も』
 小野信一 牧師
 賛 美 新聖歌 508 「神共にいまして(また会う日まで)」
 (1,3 節)
 頌 栄 新聖歌 60 「天地こぞりて」
 祝 禱 小野信一 牧師
 後 奏

60

あめつちこぞりて

Praise God, from whom all blessings flow
 Thomas Ken, 1637-1711

OLD HUNDREDTH
 Louis Bourgeois, c. 1510-61
 "Genevan Psalter," 1551

あ め つ ち こ ぞ り て か

し こ み た た え よ み め ぐ み あ

ふ る る ち ち み こ み た ま を ー む

聖書

ルカ 24:28-35

- 28 彼らは目的の村の近くに來たが、イエスはもっと先まで行きそうな様子であった。
- 29 彼らが、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています」と言って強く勧めたので、イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。
- 30 そして彼らと食卓に着くと、イエスはパンを取って神をほめたたえ、裂いて彼らに渡された。
- 31 すると彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。
- 32 二人は話し合った。「道々お話しくださる間、私たちに聖書を説き明かしてくださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか。」
- 33 二人はただちに立ち上がり、エルサレムに戻った。すると、十一人とその仲間が集まって、
- 34 「本当に主はよみがえって、シモンに姿を現された」と話していた。
- 35 そこで二人も、道中で起こったことや、パンを裂かれたときにイエスだと分かった次第を話した。

ルカ 20:36-38

- 36 彼らが死ぬことは、もうあり得ないからです。彼らは御使いのようであり、復活の子として神の子なのです。
- 37 モーセも柴の箇所、主を『アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神』と呼んで、死んだ者がよみがえることを明らかにしました。
- 38 神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神です。神にとっては、すべての者が生きているのです。」

ヨハネ 14:1-6

- 1 「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。
- 2 わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。
- 3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとのに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。
- 4 わたしがどこに行くのか、その道をあなたがたは知っています。」
- 5 トマスはイエスに言った。「主よ、どこへ行かれるのか、私たちには分かりません。どうしたら、その道を知ることができるでしょうか。」
- 6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」



508

かみとも
神 共にいまして

[讃 405]

God be with you till we meet again
詞: JEREMIAH E. RANKIN, 1828-1904RANKIN
曲: WILLIAM G. TOMES, 1833-1896

♩ = 80

かみともにいまして ゆくみちをまもり
あめのみかてもて ちからをあたえませまた
あ-うひまで-またあうひ-ま-で かみ
の-まもり-ながみをはなれざれ ア-メン

- 1 神 共にいまして 行く道を守り 2 荒野を行く時も 嵐吹く時も
天の御糧もて 力を与えませ 行く手を示して 絶えず導きませ
- (折り返し)
また会う日まで また会う日まで
神の守り 汝が身を 離れざれ
- 3 御門に入る日まで 慈しみ広き
御翼の陰に 絶えず育みませ

ローマ16:20 イザヤ43:2 詩篇84:5
マタイ28:20

336

日暮れてやみはせまり

[讃 21 218]

Abide with me
詞: HENRY F. LYRE, 1793-1847EVENTIDE
曲: WILLIAM H. MONK, 1823-1889

♩ = 96

ひくれてやみはせまり わがゆく
くてなおとおしたすけなき身のたよ
る主よともにやどりませ ア-メン

- 1 日暮れてやみはせまり わがゆくてなお遠し
助けなき身の頼る主よともに宿りませ
- 2 いのちの終わりちかく 世の榮えうつりゆく
とこしえに変わらざる主よともに宿りませ
- 3 うつりゆく世にありて 誘惑はなお強し
ただ主こそわがちから主よともに宿りませ
- 4 死のとげいずこにある 死のちからせまるとも
主に依れば恐れなし主よともに宿りませ
- 5 閉ずる目に十字架の み光を仰がしめ
み国にて覚むるまで主よともに宿りませ